

改正前

改正後

別紙4 講師要件一覧表（一級課程）

別紙4 講師要件一覧表（一級課程）

○：実務経験5年以上（助手は3年以上）、□：実務経験3年以上、◇：実務経験1年以上
 ※福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等及び市町村職員等を講師とする場合は、当該研修で担当する科目に該当する内容を教授又は担当していること。

○：実務経験5年以上（助手は3年以上）、□：実務経験3年以上、◇：実務経験1年以上
 ※福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等及び市町村職員等を講師とする場合は、当該研修で担当する科目に該当する内容を教授又は担当していること。

科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
I 講義 86時間	
(1) 障がい者（児）福祉の制度とサービス（3時間）	(略)
(2) 高齢者福祉の制度とサービス（3時間）	(略)
(3) 高齢者保健・医療の制度とサービス（3時間）	
(4) 社会保障制度（3時間）	(略)
(5) 障がい者（児）福祉の動向（2時間）	(略)
(6) 高齢者保健福祉の動向（2時間）	(略)
(7) 障がい者自立支援法の理解と権利擁護（2時間） 【障がい特化科目】	(略)
(8) 障がい者（児）ホームヘルプサービスの基本視点（2時間） 【障がい特化科目】	(略)

科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
I 講義 86時間	
(1) 障がい者（児）福祉の制度とサービス（3時間）	(略)
(2) 高齢者福祉の制度とサービス（3時間）	(略)
(3) 高齢者保健・医療の制度とサービス（3時間）	
(4) 社会保障制度（3時間）	(略)
(5) 障がい者（児）福祉の動向（2時間）	(略)
(6) 高齢者保健福祉の動向（2時間）	(略)
(7) 障がい者自立支援法の理解と権利擁護（2時間） 【障がい特化科目】	(略)
(8) 障がい者（児）ホームヘルプサービスの基本視点（2時間） 【障がい特化科目】	(略)

改正前

改正後

科目記号・科目名	
(9) 介護技術の展開 (3時間)	(略)
(10) 障がいのある児童の 介護の実際 (3時間)	(略)
(11) 身体障がい者の介護 の実際 (3時間)	(略)
(12) 認知症高齢者 の介護の実際 (3時間)	(略)
(13) 在宅ターミナルケ アの実際 (2時間)	(略)
(14) 聴覚障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(15) 視覚障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(16) 内部障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(17) 全身障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(18) 知的障がい者（児） の理解と介護事例 検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)

科目記号・科目名	
(9) 介護技術の展開 (3時間)	(略)
(10) 障がいのある児童の 介護の実際 (3時間)	(略)
(11) 身体障がい者の介護 の実際 (3時間)	(略)
(12) 認知症高齢者 の介護の実際 (3時間)	(略)
(13) 在宅ターミナルケ アの実際 (2時間)	(略)
(14) 聴覚障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(15) 視覚障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(16) 内部障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(17) 全身障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(18) 知的障がい者（児） の理解と介護事例 検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)

改正前		改正後	
科目記号・科目名		科目記号・科目名	
(19)精神障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(19)精神障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(20)難病患者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(20)難病患者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(21)ケアマネジメント の方法 (4時間)	(略)	(21)ケアマネジメント の方法 (4時間)	(略)
(22)介護保険制度と チームケアのあ り方 (4時間)	(略)	(22)介護保険制度と チームケアのあ り方 (4時間)	(略)
(23)チームケアの実際 (4時間)	(略)	(23)チームケアの実際 (4時間)	(略)
(24)指導業務の必要性 と方法 (4時間)	(略)	(24)指導業務の必要性 と方法 (4時間)	(略)
(25)カンファレンスの 持ち方と事例検討 の方法 (4時間)	(略)	(25)カンファレンスの 持ち方と事例検討 の方法 (4時間)	(略)
(26)医学の基礎知識Ⅱ (6時間)	(略)	(26)医学の基礎知識Ⅱ (6時間)	(略)
(27)在宅看護の基礎知 識Ⅱ (3時間)	(略)	(27)在宅看護の基礎知 識Ⅱ (3時間)	(略)
(28)心理学的援助方法 の基礎知識 (3時間)	(略)	(28)心理学的援助方法 の基礎知識 (3時間)	(略)
(29)障がい者の地域リハ ビリテーション (医学の立場) (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(29)障がい者の地域リハ ビリテーション (医学の立場) (2時間) 【障がい特化科目】	(略)

改正前		改正後	
科目記号・科目名		科目記号・科目名	
(30) 障がい者の地域リハビリテーション (看護の立場) (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(30) 障がい者の地域リハビリテーション (看護の立場) (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(31) 人権啓発に関する基礎知識 (2時間)	○ 学識経験者、弁護士 ○ 人権啓発を行う団体職員 ◇ 市町村人権啓発主管課職員 ◇ 福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等	(31) 人権啓発に関する基礎知識 (2時間)	○ 学識経験者、弁護士 ○ 人権啓発を行う団体職員 ◇ 市町村人権啓発主管課職員 ◇ 福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等 ◇ 大阪府人権擁護士
科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)	科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)
Ⅱ 演習 (実技講習)	6 2 時間	Ⅱ 演習 (実技講習)	6 2 時間
(32) ケアマネジメント技術 (4時間)	(略)	(32) ケアマネジメント技術 (4時間)	(略)
(33) 障がい者ケアマネジメントの方法と理解 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(33) 障がい者ケアマネジメントの方法と理解 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(34) 指導技術と介護技術の向上	(略)	(34) 指導技術と介護技術の向上	(略)
① 食事の介護 (4時間)		① 食事の介護 (4時間)	
② 排泄・尿失禁の介護 (4時間)		② 排泄・尿失禁の介護 (4時間)	
③ 衣服着脱の介護 (4時間)		③ 衣服着脱の介護 (4時間)	
④ 入浴の介護 (4時間)		④ 入浴の介護 (4時間)	
⑤ 体位・姿勢交換の介護 (4時間)		⑤ 体位・姿勢交換の介護 (4時間)	
⑥ 身体障がい者の歩行の介護 (2時間)		⑥ 身体障がい者の歩行の介護 (2時間)	
⑦ 車いすへの移乗等の介護 (2時間)		⑦ 車いすへの移乗等の介護 (2時間)	
⑧ 車いす等での移動の介護 (2時間)		⑧ 車いす等での移動の介護 (2時間)	
⑨ 身体の清潔の方法 (2時間)		⑨ 身体の清潔の方法 (2時間)	
⑩ 緊急時対応法等 (2時間)	⑩ 緊急時対応法等 (2時間)		

改正前

改正後

科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
(35) 困難事例等対応 技術	
① 障がい別状況対応 技術 (6時間)	
② 本人に困難性のある事例の対応 技術 (6時間)	
③ 家族に困難性のある事例の対応 技術 (6時間)	
④ ホームヘルパーに対する過剰な身体接触 (2時間)	
(36) 福祉用具の使用技術 (6時間)	(略)
科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
Ⅲ 実習 84時間	
(A) 処遇困難事例対応 実習 (8時間×3日間)	
(B) 通所型サービス実習 (6時間×2日間)	
(C) チームケア実習 (8時間×2日間)	
(D) 訪問看護同行訪問 (4時間×2日間)	
(E) 相談支援事業に係る実習 (4時間×1日間)	
(F) 居宅介護支援等に係る実習 (4時間×1日間)	
(G) 公的関係機関見学 (8時間×1日間)	(略)
(H) 事例報告の検討 (8時間×1日間)	(略)

科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
(35) 困難事例等対応 技術	
① 障がい別状況対応 技術 (6時間)	
② 本人に困難性のある事例の対応 技術 (6時間)	
③ 家族に困難性のある事例の対応 技術 (6時間)	
④ ホームヘルパーに対する過剰な身体接触 (2時間)	
(36) 福祉用具の使用技術 (6時間)	(略)
科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
Ⅲ 実習 84時間	
(A) 処遇困難事例対応 実習 (8時間×3日間)	
(B) 通所型サービス実習 (6時間×2日間)	
(C) チームケア実習 (8時間×2日間)	
(D) 訪問看護同行訪問 (4時間×2日間)	
(E) 相談支援事業に係る実習 (4時間×1日間)	
(F) 居宅介護支援等に係る実習 (4時間×1日間)	
(G) 公的関係機関見学 (8時間×1日間)	(略)
(H) 事例報告の検討 (8時間×1日間)	(略)

改正前

改正後

別紙5 講師要件一覧表（二級課程）

○：実務経験5年以上（助手は3年以上）、□：実務経験3年以上、◇：実務経験1年以上
 ※福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等及び市町村職員等を講師とする場合は、当該研修で担当する科目に該当する内容を教授又は担当していること。

別紙5 講師要件一覧表（二級課程）

○：実務経験5年以上（助手は3年以上）、□：実務経験3年以上、◇：実務経験1年以上
 ※福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等及び市町村職員等を講師とする場合は、当該研修で担当する科目に該当する内容を教授又は担当していること。

科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
I 講義 60時間	
(1)福祉理念とケアサービスの意義 (3時間)	(略)
(2)サービス提供の基本視点 (3時間)	
(3)高齢者福祉の制度とサービス (2時間)	(略)
(4)障がい者（児）福祉の制度とサービス (2時間)	(略)
(5)障がい者自立支援法の理解と権利擁護 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(6)ホームヘルプサービス概論 (2時間)	(略)
(7)ホームヘルパーの職業倫理 (1時間)	
(8)障がい者（児）ホームヘルプサービスの基本視点 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(9)高齢者、障がい者（児）の心理 (2時間)	(略)
(10)高齢者、障がい者（児）の家族の理解 (2時間)	
((9')高齢者の心理、家族の理解 (10')障がい者（児）の心理、家族の理解に分けて実施することも可)	

科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
I 講義 60時間	
(1)福祉理念とケアサービスの意義 (3時間)	(略)
(2)サービス提供の基本視点 (3時間)	
(3)高齢者福祉の制度とサービス (2時間)	(略)
(4)障がい者（児）福祉の制度とサービス (2時間)	(略)
(5)障がい者自立支援法の理解と権利擁護 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(6)ホームヘルプサービス概論 (2時間)	(略)
(7)ホームヘルパーの職業倫理 (1時間)	
(8)障がい者（児）ホームヘルプサービスの基本視点 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(9)高齢者、障がい者（児）の心理 (2時間)	(略)
(10)高齢者、障がい者（児）の家族の理解 (2時間)	
((9')高齢者の心理、家族の理解 (10')障がい者（児）の心理、家族の理解に分けて実施することも可)	

改正前		改正後	
(11) 介護概論 (3時間)	(略)	(11) 介護概論 (3時間)	(略)
(12) 住宅・福祉用具 に関する知識 (4時間) ①住宅に関する知識 ②福祉用具に関する 知識 に分けて実施する ことも可)	(略)	(12) 住宅・福祉用具 に関する知識 (4時間) ①住宅に関する知識 ②福祉用具に関する 知識 に分けて実施する ことも可)	(略)
(13) 聴覚障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(13) 聴覚障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(14) 視覚障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(14) 視覚障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(15) 内部障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(15) 内部障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(16) 全身障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(16) 全身障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(17) 知的障がい者（児） の理解と介護事例 検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(17) 知的障がい者（児） の理解と介護事例 検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(18) 精神障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(18) 精神障がい者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(19) 難病患者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(19) 難病患者の理解 と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)

改正前	
(20) 生活援助の方法 (4時間) (①生活援助の方法 ②栄養、食生活の あり方 に分けて実施する ことも可)	(略)
(21) 相談援助とケア 計画の方法 (4時間)	(略)
(22) 医学の基礎知識 I (2時間)	(略)
(23) 在宅看護の基礎 知識 I (2時間)	(略)
(24) 障がい者の地域リハ ビリテーション (医学の立場) (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(25) 障がい者の地域リハ ビリテーション (看護の立場) (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(26) 人権啓発に関する 基礎知識 (2時間)	○ 学識経験者、弁護士 ○ 人権啓発を行う団体職員 ◇ 市町村人権啓発主管課職員 ◇ 福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等
科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)
II 演習 (実技講習)	4 2時間
(27) 共感的理解と基本 的態度の形成 (4時間)	(略)

改正後	
(20) 生活援助の方法 (4時間) (①生活援助の方法 ②栄養、食生活の あり方 に分けて実施する ことも可)	(略)
(21) 相談援助とケア 計画の方法 (4時間)	(略)
(22) 医学の基礎知識 I (2時間)	(略)
(23) 在宅看護の基礎 知識 I (2時間)	(略)
(24) 障がい者の地域リハ ビリテーション (医学の立場) (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(25) 障がい者の地域リハ ビリテーション (看護の立場) (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(26) 人権啓発に関する 基礎知識 (2時間)	○ 学識経験者、弁護士 ○ 人権啓発を行う団体職員 ◇ 市町村人権啓発主管課職員 ◇ 福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等 ◇ 大阪府人権擁護士
科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)
II 演習 (実技講習)	4 2時間
(27) 共感的理解と基本 的態度の形成 (4時間)	(略)

改正前		改正後	
(28) 基本介護技術	(略)	(28) 基本介護技術	(略)
① 食事の介護 (4時間)		① 食事の介護 (4時間)	
② 排泄・尿失禁の 介護 (4時間)		② 排泄・尿失禁の 介護 (4時間)	
③ 衣服着脱の介護 (4時間)		③ 衣服着脱の介護 (4時間)	
④ 入浴の介護 (4時間)		④ 入浴の介護 (4時間)	
⑤ 体位・姿勢交換の 介護 (4時間)		⑤ 体位・姿勢交換の 介護 (4時間)	
⑥ 身体障がい者の歩行 の介護 (2時間)		⑥ 身体障がい者の歩行 の介護 (2時間)	
⑦ 車いすへの移乗の 介護 (2時間)		⑦ 車いすへの移乗の 介護 (2時間)	
⑧ 車いす等の移動 の介護 (2時間)		⑧ 車いす等の移動 の介護 (2時間)	
⑨ 身体の清潔の方法 (2時間)		⑨ 身体の清潔の方法 (2時間)	
⑩ 緊急時対応法等 (2時間)	⑩ 緊急時対応法等 (2時間)		
(29) ケア計画の作成と 記録、報告の技術 (3時間)	(略)	(29) ケア計画の作成と 記録、報告の技術 (3時間)	(略)
(30) 障がい者ケアマネジ メントの方法と理 解 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(30) 障がい者ケアマネジ メントの方法と理 解 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(31) レクリエーション 体験学習 (3時間)	(略)	(31) レクリエーション 体験学習 (3時間)	(略)
科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)	科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)
Ⅲ 実習 30時間		Ⅲ 実習 30時間	
(A) 介護実習 (8時間×2日)		(A) 介護実習 (8時間×2日)	
(B) ホームヘルプサー ビス同行訪問 (4時間×2日)		(B) ホームヘルプサー ビス同行訪問 (4時間×2日)	
(C) 在宅サービス提供 現場見学 (6時間×1日)		(C) 在宅サービス提供 現場見学 (6時間×1日)	

改正前

改正後

別紙6 講師要件一覧表（三級課程）

別紙6 講師要件一覧表（三級課程）

○：実務経験5年以上（助手は3年以上）、□：実務経験3年以上、◇：実務経験1年以上
 ※福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等及び市町村職員等を講師とする場合は、当該研修で担当する科目に該当する内容を教授又は担当していること。

○：実務経験5年以上（助手は3年以上）、□：実務経験3年以上、◇：実務経験1年以上
 ※福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等及び市町村職員等を講師とする場合は、当該研修で担当する科目に該当する内容を教授又は担当していること。

科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
I 講義 27時間	
(1) サービス提供の基本視点 (3時間)	(略)
(2) 高齢者福祉の制度とサービス (1時間)	(略)
(3) 障がい者（児）福祉の制度とサービス (1時間)	(略)
(4) 障がい者自立支援法の理解と権利擁護 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(5) ホームヘルプサービス概論 (1時間)	(略)
(6) 障がい者（児）ホームヘルプサービスの基本視点 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(7) サービス利用者の理解 (1時間)	(略)
(8) 身体障がい者の理解と介護事例検討 (3時間) 【障がい特化科目】	(略)
(9) 知的障がい者（児）の理解と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)

科目記号・科目名	講師要件（実務経験等）
I 講義 27時間	
(1) サービス提供の基本視点 (3時間)	(略)
(2) 高齢者福祉の制度とサービス (1時間)	(略)
(3) 障がい者（児）福祉の制度とサービス (1時間)	(略)
(4) 障がい者自立支援法の理解と権利擁護 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(5) ホームヘルプサービス概論 (1時間)	(略)
(6) 障がい者（児）ホームヘルプサービスの基本視点 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
(7) サービス利用者の理解 (1時間)	(略)
(8) 身体障がい者の理解と介護事例検討 (3時間) 【障がい特化科目】	(略)
(9) 知的障がい者（児）の理解と介護事例検討 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)

改正前		改正後				
(10)生活援助の方法 (4時間)	(略)	(10)生活援助の方法 (4時間)	(略)			
(11)医学の基礎知識 (3時間)	(略)	(11)医学の基礎知識 (3時間)	(略)			
(12)心理面への援助 方法 (2時間)	(略)	(12)心理面への援助 方法 (2時間)	(略)			
(13)人権啓発に関する 基礎知識 (2時間)	○ 学識経験者、弁護士 ○ 人権啓発を行う団体職員 ◇ 市町村人権啓発主管課職員 ◇ 福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等	(13)人権啓発に関する 基礎知識 (2時間)	○ 学識経験者、弁護士 ○ 人権啓発を行う団体職員 ◇ 市町村人権啓発主管課職員 ◇ 福祉・介護・看護系大学、介護福祉士養成施設等の教員等 ◇ 大阪府人権擁護士			
科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)	科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)			
II 演習 (実技講習)	17時間	II 演習 (実技講習)	17時間			
(14)共感的理解と基本 的態度の形成 (4時間)	(略)	(14)共感的理解と基本 的態度の形成 (4時間)	(略)			
(15)介護技術入門	(略)	(15)介護技術入門	(略)			
①食事の介護 (2時間)		(略)				
②排泄・尿失禁の 介護 (2時間)				(略)		
③体位・姿勢交換の 介護等 (2時間)					(略)	
④車いすへの移乗等 及び移動の介護 (2時間)						(略)
⑤緊急時対応法等 (2時間)	(略)					
(16)ホームヘルプサー ビスの共通理解 (1時間)		(略)	(16)ホームヘルプサー ビスの共通理解 (1時間)			

改正前		改正後	
(17) 障がい者ケアマネジメントの方法と理解 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)	(17) 障がい者ケアマネジメントの方法と理解 (2時間) 【障がい特化科目】	(略)
科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)	科目記号・科目名	講師要件 (実務経験等)
Ⅲ 実習 8時間		Ⅲ 実習 8時間	
(A) ホームヘルプサービス同行訪問 (4時間×1日)		(A) ホームヘルプサービス同行訪問 (4時間×1日)	
(B) 在宅サービス提供 現場見学 (4時間×1日)		(B) 在宅サービス提供 現場見学 (4時間×1日)	